

中学校外国語科における領域統合型の言語活動の充実に関する実践

日時 令和4年9月16日(金)
 対象 山田町立山田中学校 第3学年 2クラス
 指導者 総合教育センター 長期研修生
 山田町立山田中学校 教諭 山崎 裕美子

1 単元名
PROGRAM 5 The Story of Chocolate (SUNSHINE ENGLISH COURSE 3)

2 単元の目標
フェアトレードについて関心をもってもらえるようなメッセージボードを作成するために、フェアトレードについて書かれた英文を読んで、事実や考えなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある英文を書くことができる。

3 単元の評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 関係代名詞（主格）の構造や働きを理解している。 社会的な話題に関する事実や自分の考えなどについて、関係代名詞（主格）や、簡単な語句、文を用いて書く技能を身に付けている。 	社会的な話題やおすすめのフェアトレード製品について学校内外の様々な人に紹介するために、フェアトレードの良い点や紹介するフェアトレード製品について、おすすめポイント（事実）や自分の考えなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書いている。	社会的な話題やおすすめのフェアトレード製品について学校内外の様々な人に紹介するために、フェアトレードの良い点や紹介するフェアトレード製品について、おすすめポイント（事実）や自分の考えなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書こうとしている。

4 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて
<ul style="list-style-type: none"> 言語活動への取組に関して見通しをもったり振り返ったりする機会を設定し、学びの自己調整を図ることができるようにする。 他教科での既習事項であるフェアトレードや児童労働に関する知識、チョコレートなど身近な話題と関連付けた授業構成にすることによって、自分事として捉えて取り組むことができるようにする。 ペアやグループ、学級で情報や考えを共有する場面を設け、自分の考えを広げたり深めたりする協働的な学びを通して、フェアトレードの良い点、紹介するフェアトレード製品に関する内容や自分の考えを整理し、適切に書くことができるようにする。 おすすめフェアトレード製品について紹介するメッセージボードを書くことができるように、フェアトレードの良い点、紹介するフェアトレード製品に関する内容や自分の考え、それらを伝えるための適切な英語表現など、内容面や言語面での改善を図りながら、思考・判断・表現できるように授業を構成する。

5 情報活用能力について					
本単元の実践で、児童生徒に必要なICTの基本操作					
<input type="checkbox"/>	PCの起動や終了	<input type="checkbox"/>	写真や動画の撮影	<input type="checkbox"/>	写真や動画の視聴
<input type="checkbox"/>	文字の入力	<input type="checkbox"/>	ファイルの呼び出し・保存	<input type="checkbox"/>	アプリケーションの操作
<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>	問題解決のための活用	<input type="checkbox"/>	クラウドの協働作業
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	写真や動画の編集
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	ブラウザでのインターネット検索
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	情報モラル・情報セキュリティ

6 単元の指導と評価の計画 (全8時間)					
時	ねらい (■)、言語活動等 (丸数字)	知	思	態	備考
1	<p>■単元の目標と学習内容について理解し、自己目標を設定する。</p> <p>①児童労働に関する英文を読み、自分の考えを書く。(読む→書く) 【パフォーマンス課題 (事前)】</p> <p>②単元のゴールの活動を理解する。</p> <p>③単元の自己目標を設定する。</p>				<p>記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を見届けて指導に生かすことは毎時間行う。活動させているだけにならないよう十分留意する。</p>
2	<p>■主格の関係代名詞の働きや構造について理解する。</p> <p>①2ヒントクイズを通して、人やものについて詳しく説明する。</p> <p>②主格の関係代名詞の働きや構造について、様々な例を通して気付く。</p> <p>③①②を通して理解したことを自分の言葉でまとめる。</p>				
3	<p>■古代のチョコレートの特徴についてペアに伝える。</p> <p>①聞いたり読んだりして、概要や要点を把握する。</p> <p>②キーフレーズを基に古代のチョコレートの特徴について話したり書いたりする。(読む→書く)</p>				
4	<p>■チョコレートの歴史について、一番驚いたことをペアに伝える。</p> <p>①歴史など時系列で書かれた文章を読み取る際に注目すべき点について考える。</p> <p>②①で確認した目的に応じた読み方をしながら、要点を読み取る。</p> <p>③キーフレーズを基に、チョコレートの歴史について一番驚いたことやその理由を話したり書いたりする。(読む→書く)</p>				
5	<p>■フェアトレードの良い点やフェアトレードについての自分の考えを書く。</p> <p>①段落ごとに書かれている内容にふさわしいタイトルを考えることで、概要を把握する。</p> <p>②読み取ったことを基に、フェアトレードの良い点やフェアトレードについての自分の考えを話したり書いたりする。(読む→書く)</p>		○	○	
6 本時	<p>■教科書とは別の英文(フェアトレードの良い点についての文章)を読み、フェアトレードの良い点やフェアトレードについての自分の考えを書く。</p> <p>①これまで学習してきた読み方を基に、要点を把握する。</p> <p>②読み取ったことを基に、フェアトレードの良い点やフェアトレードについての自分の考えを話したり書いたりする。(読む→書く)</p>				
7	<p>■おすすめのフェアトレード製品について紹介するメッセージボードを作成する。</p> <p>①これまでフェアトレードの良い点について読んで理解してきたことやそれを通して考えてきたこと、また、紹介したいフェアトレード製品についてやり取りしたり調べたりしたことを基に、紹介文とともにメッセージボードを作成する。</p>		○	○	
8	<p>■友達のメッセージボードを読み、内容や英語表現について学び合う。</p> <p>■単元の学習を振り返り、できるようになったことやこれから頑張ることを書く。</p> <p>①メッセージボードを読み合い、紹介文の良かった点についてコメントを書く。</p> <p>②児童労働に関する英文を読み、自分の考えを書く。(読む→書く) 【パフォーマンス課題 (事後)】</p> <p>③単元の学習を振り返り、できるようになったことやこれから頑張ることについて書く。</p>		○	○	
後日	ペーパーテスト	○			

7 本時の指導

(1) 本時の目標

フェアトレードについて書かれた文章を読み、フェアトレードの良い点やフェアトレードについての自分の考えを書くことができる。

(2) 学校におけるICTを活用した学習場面

A 一斉学習	B 個別学習	C 協働学習
<p>挿絵や写真等を拡大・縮小、画面への書き込み等を活用して分かりやすく説明することにより、子供たちの興味・関心を高めることが可能となる。</p> <p>A1 教師による教材の提示  画像の拡大提示や書き込み、音声、動画などの活用</p> <p>B3 思考を深める学習  シミュレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習</p>	<p>デジタル教材などの活用により、自らの疑問について深く調べることや、自分に合った進度で学習することが容易となる。また、一人一人の学習履歴を把握することにより、個々の理解や関心の程度に応じた学びを構築することが可能となる。</p> <p>B1 個に応じた学習  一人一人の習熟の程度に応じた学習</p> <p>B2 調査活動  インターネットを用いた情報収集、写真や動画等による記録</p> <p>B4 表現・制作  マルチメディアを用いた資料、作品の制作</p> <p>B5 家庭学習  情報端末の持ち帰りによる家庭学習</p>	<p>タブレットPCや電子黒板等を活用し、教室内の授業や他地域・海外の学校との交流学習において子供同士による意見交換、発表などお互いを高めあう学びを通して、思考力、判断力、表現力などを育成することが可能となる。</p> <p>C1 発表や話し合い  グループや学級全体での発表、話し合い</p> <p>C2 協働での意見整理  複数の意見・考えを議論して整理</p> <p>C3 協働制作  グループでの分担・協働による作品の制作</p> <p>C4 学校の壁を越えた学習  遠隔地や海外の学校等との交流授業</p>

「教育の情報化に関する手引—追補版—」2020年6月 文部科学省

(3) コンピュータでできること

<input type="checkbox"/>	個別のドリル学習
<input type="checkbox"/>	試行錯誤する
<input type="checkbox"/>	写真撮影する
<input type="checkbox"/>	念入りに見る
<input type="checkbox"/>	録音・録画と再視聴
<input type="checkbox"/>	調べる
<input type="checkbox"/>	分析する
<input type="checkbox"/>	考える
<input type="checkbox"/>	見せる
<input type="checkbox"/>	共有・協働する
<input type="checkbox"/>	その他 ()

(4) 活用するICT機器等

<input type="checkbox"/>	PC (ノート・タブレット)	<input type="checkbox"/>	電子黒板	<input type="checkbox"/>	大型テレビ
<input type="checkbox"/>	書画カメラ	<input type="checkbox"/>	ウェブブラウザ	<input type="checkbox"/>	デジタル教科書
<input type="checkbox"/>	プロジェクター (スクリーン)	<input type="checkbox"/>	授業支援ソフト	<input type="checkbox"/>	動画コンテンツ
<input type="checkbox"/>	プレゼンテーションソフト	<input type="checkbox"/>	ドリル教材	<input type="checkbox"/>	ウェブ会議システム
<input type="checkbox"/>	その他 ()	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	

(5) 学習場面でのICTの活用の仕方、目指す児童生徒の姿

本時では、前時までに経験したいろいろな文章の読み方を基に、初見の文章を読み取ってフェアトレードの良い点やフェアトレードについての自分の考えを書くことを目指す。そのために、以下の学習場面でICTを活用していく。

【B 個別学習】〔B1 個に応じた学習〕

初見の英文を読む際、既習の知識を活用したり推測したりしても読めない単語や意味の分からない単語がある等、内容を把握することに支障をきたす場合に、必要に応じてタブレットで発音や意味を調べることができるようにする。また、考えを英語で書く際、既習表現を使ったり内容をかみ砕いて易しく言い換えたりしても、伝えたい内容を表現することができない場合に、必要に応じて語彙や表現を調べることができるようにする。

【B 個別学習】〔B1 個に応じた学習〕〔B2 調査活動〕

読み取った内容を基に考えを書く際、読み取った内容だけでは考えをもつことが難しい場合に、必要に応じて内容を補足する情報を収集することで考えをもつことができるようにする。

【B 個別学習】〔B3 思考を深める学習〕【C 協働学習】〔C1 発表や話し合い〕

Google Jamboardの付箋機能を活用して指導者が作成した思考ツールを用いて、表現する構成を考えたり、それを基に英語で話したり書いたりする際、他者から多様な視点を得ることで、内容面や言語面での改善を図りながら、構成を考えて英語を話したり書いたりすることができるようにする。

(6) 本時の指導案 (6/8)		
	学習活動	指導上の留意点 (◇評価 【 】評価の観点 ■活用するICT機器等)
導入 5分	1 紹介したいフェアトレード製品のおすすめポイントについてやり取りする。 2 学習課題を把握する。 (1) 教師とのやり取りを通して、前時の内容について復習するとともに、本時に学習する英文の内容への興味をもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ・宿題で調べてきたメモを基に、知っている単語や表現で伝えることができるようにする。画像があれば、タブレットで製品の画像を見せながら伝える。 ■大型テレビ、タブレットPC 発表や話し合い [C 1]
フェアトレードの良い点やフェアトレードについての自分の考えを書こう。		
展開 40分	3 フェアトレードの良い点について読み取る。 (1) 本文を読んで、フェアトレードの良い点がかかれているところに線を引く。 (2) 教師の範読を聞きながら、再度確認する。 (3) ペアで確認する。 (4) 全体で確認する。 4 フェアトレードの良い点やフェアトレードについての自分の考えを書く。 (1) 個人のペースで音読練習をする(教師が範読した音声データを活用)。 (2) 思考ツールに示されたキーフレーズを基に、フェアトレードの良い点についてペアで伝え合う。中間指導を参考に、内容面・言語面での改善を図りながらペアを替えて複数回行う。 (3) (2)の内容にフェアトレードについての自分の考えを加えて、ペアで伝え合う。中間指導を参考にしながら、内容面や言語面での改善を図りながら行う。 (4) (3)で伝え合ったことを基に、フェアトレードの良い点やフェアトレードについての自分の考えをワークシートに書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書とは別の英文を読み、フェアトレードに関連する事柄への理解を深めることができるようにする。 ・読めない単語や意味が分からない単語は、辞書やタブレットを使用して調べてもよいことにする(一字一句調べるのではなく、内容把握に支障をきたすような場合に調べる)。 ■タブレットPC 個に応じた学習 [B 1] ・生徒とのやり取りの中で出てきたキーフレーズを用い、その後の活動につなげられるようにする。 ・発音が分からない単語は、必要に応じてタブレットで調べることができるようにする。 ■タブレットPC 個に応じた学習 [B 1] ・キーフレーズを頼りに伝えることで、どんなことをどのように表現すればよいか、思考・判断できるようにする。 ・考えをもつことが難しい場合には、内容を補足する情報を収集するなどして、考えがもてるようにする。 ■Google Jamboard 思考を深める学習 [B 3] 発表や話し合い [C 1] 個に応じた学習 [B 1] 調査活動 [B 2] ・英語で話したり書いたりする際、必要に応じてタブレットで英語表現を調べることができるようにする。その際、文全体を翻訳するのではなく、単語レベルで調べるように伝える。 ■タブレットPC 個に応じた学習 [B 1]
終末 5分	5 学習を振り返る。 (1) これまでの取組と比べて、できたことや、改善したいことを振り返りシートに書く。	
《学習の振り返り例》 前回に比べて、つなぎことばに注目しながらだいたいの内容を読むことができた。フェアトレードの良い点について理解できたので、メッセージボードを作るときにも、このことに触れて書けるようにしたい。		
(2) 宿題を確認する。 本時の帯活動でフェアトレード製品のおすすめポイントを伝えてみて、さらに必要だと思った情報や表現について調べてくる。		